学術大会における演題発表後の演題取り下げについて

令和2年1月31日

日本小児理学療法学会
代表運営幹事 小塚直樹

第6回 日本小児理学療法学会学術大会において、演題発表後にその登録者より、「研究
中に使用された評価ツールの不適正な使用が認められた」との理由で演題取り下げの
申請がなされました。

この件に関し小児理学療法学会常任運営幹事会、並びに、第6回 日本小児理学療法
学会学術大会 学術大会長との間で慎重に審議を重ねた結果、以下の対応を行うことと
致しました。

記

演題に対する対応

1) 下記の演題は、抄録集には掲載されているが取り下げとした。

演題番号:P-1-6

演題名:脳性麻痺児の日常生活動作、認知機能と上肢筋の筋量、
関節可動域および痙性との関連

演者氏名:内川 雄貴・鈴木 真海・高橋 沙希・諸橋えみな・北村 由季
飯塚 悠花・菅原 花梨・磯部 ほのか・服部 冬海・正木 光裕

2) 取り下げ理由:研究中に使用された評価ツールの不適正な使用が認められたため。

3) 以上のことから、抄録(PDF)についても同様の対応をとることとする。

<問い合わせ先>

日本小児理学療法学会

<https://support.japanpt.or.jp/jspt/contact/?site=jspt&inq=150840>